

みずほCustomer Desk Report 2022/07/15号(As of 2022/07/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	138.01 AUD/USD
TKY 9:00AM	137.64	1.0034	138.12	1.1863	0.6732
SYD-NY High	139.38	1.0066	139.75	1.1891	0.6787
SYD-NY Low	137.36	0.9952	137.99	1.1761	0.6683
NY 5:00 PM	138.94	1.0023	139.23	1.1826	0.6749

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,630.17	▲ 142.62	日本2年債	▲0.0600%	0.0200%
NASDAQ	11,251.19	3.60	日本10年債	0.2300%	0.0000%
S&P	3,790.38	▲ 11.40	米国2年債	3.1259%	▲0.0216%
日経平均	26,643.39	164.62	米国5年債	3.0617%	0.0348%
TOPIX	1,893.13	4.28	米国10年債	2.9567%	0.0221%
シカゴ日経先物	26,740.00	215.00	独10年債	1.1750%	0.0325%
ロンドンFT	7,039.81	▲ 116.56	英10年債	2.0985%	0.0400%
DAX	12,519.66	▲ 236.66	豪10年債	3.4740%	0.0520%
ハンセン指数	20,751.21	▲ 46.74	USDJPY 1M Vol	12.55%	0.81%
上海総合	3,281.74	▲ 2.55	USDJPY 3M Vol	12.38%	0.73%
NY金	1,705.80	▲ 29.70	USDJPY 6M Vol	12.13%	0.73%
WTI	95.78	▲ 0.52	USDJPY 1M 25RR	▲1.05%	Yen Call Over
CRB指数	273.26	▲ 4.67	EURJPY 3M Vol	14.16%	0.69%
ドルインデックス	108.54	0.59	EURJPY 6M Vol	13.88%	0.70%

東京	東京時間のドル円は137.64レベルでオープン。米CPIの強い結果を受けたFedの効派傾斜が想定される中、ドル円は右肩上がり展開。仲値にかけて138円手前まで上昇し、もみ合った後138円台に乗せた。一巡後は138円ちょうど付近を推移したが、後半にかけて再度ドル円が強含むと138.65まで上昇し、138.57レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、138.57レベルでオープン。13日の流れを引き継ぎ上昇トレンドで139円台に。一時139.38まで上昇したが、結局138.87レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は13日の米CPI結果や、カナダ中銀の予想を上回る利上げ発表を受け、今月27日の米FOMCでの100bp利上げ期待が強まったことから、海外市場で139.38まで上昇し、138.87レベルでNYオープン。朝方は、米PPI(除食品・エネルギー)が予想を下回ったことからドル円は若干下押しするが、米PPI前年比では11.3%と高い伸びであったことから、ドル円は再び海外市場で付けた高値139.38まで上昇する。その後、ウォー理事がデータの裏付けがあればより大幅な利上げに傾くだろうとしつつも、7月75bps利上げが基本シナリオとしたことでユーロドルが買い戻される展開にドル円は138.72まで下落する。午後は139円ちょうど付近での推移が続き、138.94レベルでクローズした。一方、引き続き軟調な推移が続くユーロドルは、海外市場で1.0005付近まで何度も下落するがパリティ割れできず、1.0011レベルでNYオープン。朝方はパリティ割れを目前にしてもみ合いが続くが、米短期金利上昇を受けたドル買いにパリティ割れし、0.9952まで下落する。しかしロンドンフィックスに掛けて急速に買い戻されたことや、上昇していた短期金利が下落する展開に1.0048まで急速に戻す。しかしユーロの売り意欲は強く0.9984まで再び下落する。午後は1.0020付近での閑散な推移が続き、1.0023レベルでクローズした。

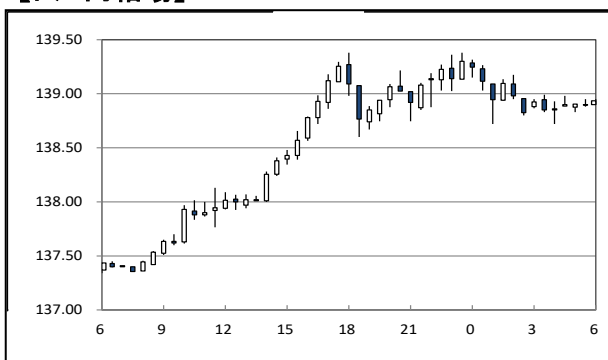
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月14日	10:30	豪雇用者数変化	6月 88.4k	30.0k
	10:30	豪失業率	6月 3.5%	3.8%
	13:30	日鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	5月 -7.5%/-3.1%	-
	21:30	米PPI(前月比/前年比)	6月 1.1%/11.3%	0.8%/10.7%
	21:30	米新規失業保険申請件数	9-Jul 244k	235k

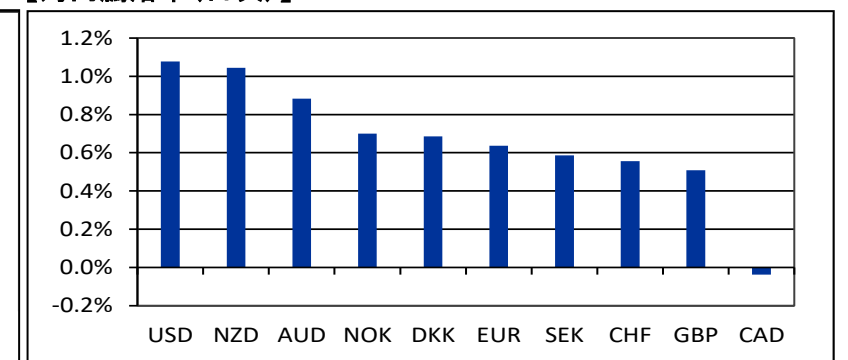
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月15日	11:00	中GDP(前年比)	2Q 1.2%	4.8%
	11:00	中小売売上高(前年比)	6月 0.3%	-6.7%
	21:30	米NY連銀製造業景気指数	7月 -2.0	-1.2
	21:30	米小売売上高速報(前月比)	6月 0.9%	-0.3%
	21:45	米ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	22:00	米ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米ミシガン大学消費者マインド・速報	7月 50	50
	23:30	米デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.75-139.50	0.9975-1.0080	138.80-139.70

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は一昨日の強い米6月CPIを背景にした前日からの流れそのままに続伸。東京時間は仲値にかけてドル買いが優勢となり、138円台に乗せるとその後も勢い止まらず、ロンドン時間には139.38まで続伸。NY時間に入り米6月PPIや新規失業保険申請件数を通過するも反応は限定的で139円付近を揉み合い推移し、138.94レベルでクローズした。本日のドル円はNY時間に発表が予定されている経済指標（米小売売上高、NY連銀製造業景気指数、ミシガン大学消費者マインド）の結果待ちとなり、方向感に欠ける展開を予想。日本時間は3連休前のポジション調整の値動きと実需のフローに限定されるであろう。但し、足元のドル高円安が日本の貿易収支赤字による、実需の観点から始まったという思惑もある中、岸田首相の原子力発電の再稼働を進める発言には、ドル円の上値を抑える材料として警戒したい。足元の原油高を受けた貿易収支の赤字縮小に幾分か寄与すると考えられるからである。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：大庭・木村